

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第30回
神奈川代協

その時の状況ででき得る
最上の施策を考え実行する

「こーんにーちはー」 年多発している第三者の神奈川代協は、損害保険の普及と保険契約者及び一般消費者の利益保護を図るため、保険代理店二弾『BCP策定及び事業の適正な運営を確保し、損害保険事業の健全な発展に寄与する』をテーマに、451店(2022年1月31日現在の会員)で活動しております。要約すると、お客様のために一生懸命アレコレ頑張っている代理店の集まりです。

平時であれば各支部でのセミナーや勉強会、献血や清掃活動などの社会貢献活動、そして親睦を深めるバス旅行やゴルフにボウリング大会等、学びも遊びも全力投球だったのですが、今年度はほぼコロナに翻弄されてしまいました。そんなコロナ禍でできる事は何か? その答えの一つがオンラインセミナーでした。

5月には今年度第一弾として神奈川県警サイバー犯罪捜査課対策係の方に『サイバーセキュリティセミナー』と題し、近

年多発している第三者の不正アクセスによる個人情報漏洩事案の解説と対応策を学び、7月には第2弾『BCP策定及び事業の適正な運営を確保し、損害保険事業の健全な発展に寄与する』を日本代協アドバイザー粕谷氏にご登壇いただき開催。その必要性和代理店の役割などを学ぶだけでなく、中小企業庁の事業継続力強化計画認定の申請まで踏み込みました。アフターフォロー研修会も開催し、会員の約20%が認定を取得するに至っております。

9月には第三弾『代理店賠償責任保険セミナー』と題し、野元専務理事に講演いただき、そのための今からできる事、進むべき方向を日本代協の野元専務理事からヒントをもらっちゃおうと題し、野元専務理事にご講演いただき、後半では各保険会社の代表となる代理店さんにお集まりいただき、隣り芝生は本当に青いのか? こんなこと話していいの? 等のお話を楽しく聞かせていただきました。

11月には第四弾『金融庁検査の着眼点セミナー』と題し、元金融庁特別検査官の方に、豊富な経験を元に代理店に求められる取り組みについて講演いただき、そして12月には損害協会さんとタイアップし第五弾『代理店営業の落とし穴。これで落ちないぞセミナー』を開催。前半は三井住友海上損害サービス部の方による不正請求事案の現状とその対策を、後半は代理店における賠償事案の増加とトラブルを生まない体制整備と顧客への提案方法について、チャプ損保代賠償責任講師の方に解説いただきました。

そして真年1月には「新春の集わぬ」特別講演『10年後も代理店として輝きませんか?』のため今からできる事、進むべき方向を日本代協の野元専務理事からヒントをもらっちゃおうと題し、野元専務理事にご講演いただき、後半では各保険会社の代表となる代理店さんにお集まりいただき、隣り芝生は本当に青いのか? こんなこと話していいの? 等のお話を楽しく聞かせていただきました。

11月には第四弾『金融庁検査の着眼点セミナー』と題し、元金融庁特別検査官の方に、豊富な経験を元に代理店に求められる取り組みについて講演いただき、そして12月には損害協会さんとタイアップし第五弾『代理店営業の落とし穴。これで落ちないぞセミナー』を開催。前半は三井住友海上損害サービス部の方による不正請求事案の現状とその対策を、後半は代理店における賠償事案の増加とトラブルを生まない体制整備と顧客への提案方法について、チャプ損保代賠償責任講師の方に解説いただきました。



座談会のようす